

取組事例

1 市町村の事例

(1) 地域学習に関すること

事業名

【元氣の出るふるさと講座（地域リーダー育成）】

目的

地域が直面している課題や地域の特色を生かした集落づくりについて学び合うことで、仲間づくりを進め、地域のリーダーを育成するとともに、地域コミュニティの強化を図ることを目的とする。

実施主体

上越市教育委員会生涯学習推進課公民館

参加対象

全市の市民

参加者数

下表のとおり

内容

地域自治区を単位とし、3年連続で講座を開催。年次計画に基づき、1年間に4地区を順次開催する（平成24年度～32年度（予定））。下記は平成25年度が初年度となる講座。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成25年7月24日(水) ～12月6日(金)	【吉川区】「酒」を核とした地域づくり。吉川の酒をどう地域に活かすか考える。	農学博士 地元蔵元、杜氏ほか
	内容・方法	●ふるさと楽酒講座（全5回） ・参加者：地域住民（参加実人数13人、延参加者数49人） ・場 所：吉川区内 ・内 容：上越市中山間地域振興基本条例から地域課題を見直す、酒づくりに必要な水と米を知る、地元蔵元からの「地域と酒」についての講話など	
2	平成25年10月2日(水) ～12月4日(水)	【金谷区】交流をとおした地域づくり	集落づくり推進員、 地元活動団体ほか
	内容・方法	●元氣の出るふるさと講座（全5回） ・参加者：地域住民（参加実人数15人、延参加者数50人） ・場 所：金谷区内 ・内 容：クニ（村落集合体）とは何か、金谷区の歴史を学ぶ、金谷区の食文化を知る、地域団体の活動紹介など	
3	平成25年10月25日(金) ～12月20日(金)	【浦川原区】地域で活動する団体の取り組みを知り、地域をもっと元気にする方法を考える	集落づくり推進員 地元活動団体ほか
	内容・方法	●元氣の出るふるさと講座（全5回） ・参加者：地域住民（参加実人数18人、延参加者数63人） ・場 所：浦川原区内 ・内 容：浦川原の産業（ぶどう園）見学と取り組み紹介、国指定天然記念物「虫川の大スギ」の保存活動紹介、宿泊体験交流施設「月影の郷」の活動体験と取り組み紹介など	
4	平成26年1月24日(金) ～3月7日(金)	【清里区】地域で活動する団体の取り組みを知り、地域をもっと元気にする方法を考える	集落づくり推進員 地元活動団体
	内容・方法	●元氣の出るふるさと講座（全4回） ・参加者：地域住民（定員15人） ・場 所：清里区内 ・内 容：上越市中山間地域振興基本条例から地域課題を見直す、清里油田開発の歴史、地元生産組合の取り組み紹介など	

成果

- ・地域を知る活動を中心に行ったことで、自分たちの住む地域を知る機会となり、参加者それぞれが地域に対しての問題意識を持つことができた。
- ・仲間づくりが深まった。

課題

- ・3年をかけて地域リーダーを育成する内容のため、次年度以降いかに地域に沿った内容を設定し、実践につなげていくかが課題。

問合せ先

上越市教育委員会 生涯学習推進課公民館 事業係（電話：025-545-9245）

事業名

〔生涯学習集中セミナー「まち歩きで小千谷新発見！」〕

目的

- (1) 有名な観光地でなくても、町それぞれにある魅力を発見することで自分の住んでいる町がより輝くことを学ぶ。
 (2) 参加者がまち歩きの日線を学ぶことで、どこに行っても通用するまち歩きの技術を学ぶ。

実施主体

小千谷市生涯学習スポーツ課

参加対象

一般市民

参加者数

のべ97人

回数

4回

日数

4日

時間

のべ12時間

場所

市内、市民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月21日(土) 14:00~17:00	まち歩きの日線を学ぶ	まち歩きナビゲーター 野内 隆裕
	内容・方法	講師が新潟で長年取り組んできた、まち歩きの技術を学んだ。その後講師と市内を歩き、講師の日線を学んだ。	
2	9月22日(日) 9:00~12:00 9月28日(土) 14:00~17:00	小千谷のまちを歩いてみる	まち歩きナビゲーター 野内 隆裕
	内容・方法	主催者が決めたルートを全員で歩き、それぞれが違う日線を持っていることを学んだ。それぞれが写真記録を行った。	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11月24日(日) 9:00~12:00	まち歩きコース発表会	まち歩きナビゲーター 野内 隆裕
内容・方法	参加者が、自分なりのまち歩きコースを持ち寄り、発表する場を設け、市内の魅力あるまち歩きコースを作成した。		

成果

- ・日頃生活している町も、まち歩きの日線で歩くと新たな発見がみられ、参加者の地域への関心を高めることができた。
- ・地域住民が地域を深く知ることで、地域の歴史や伝統が伝えられる。

課題

- ・まち歩きの手法はどこでも有効であり、今後公民館などにより連携を深めて講座を実施したい。
- ・参加者のグループ化に取り組めればより有効な講座となった。

問合せ先

小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係（担当：篠田淳一）

TEL：0258-83-0077

事業名

〔 市民教養講座開催事業紫雲寺地区「ふるさと講座」 〕

目的

地域や近隣市町村の歴史を学習し、理解を深めるとともに、ふるさと再発見に結び付ける機会とする

実施主体

紫雲寺地区公民館

参加対象

市民

参加者数

延べ171人

回数

5回

日数

5日

時間

7.5時間

場所

紫雲寺地区公民館

内容

新発田市内及び紫雲寺地区に係わる人物や歴史等について学ぶ

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月5日(土) 10:00~11:30	堀部安兵衛武庸のもろもろ	武庸会 平山 靖夫 様
	内容・方法	堀部安兵衛武庸の生い立ちや人物像、エピソード等	
2	10月19日(土) 10:00~11:30	大倉喜八郎の功績	新発田郷土研究会 大沼 長栄 様
	内容・方法	大倉喜八郎の生い立ちや人物像、功績等	
3	11月16日(土) 10:00~11:30	発誠館・今井道場の集合写真の分析と旧紫雲寺町小川出身、「武内重六郎(旧姓松川)先生」の功績	新発田郷土研究会 佐藤 泰彦 様
	内容・方法	武内重六郎の生い立ちや人物像、功績等	
4	11月30日(土) 10:00~11:30	今年発見した山城	山城研究家 木村 尚志 様
	内容・方法	講師が今年発見した二つの山城について	
4	12月7日(土) 10:00~11:30	紫雲寺湯の開発	古文書講座講師 椎谷 良平 様
	内容・方法	古文書等からうかがえる紫雲寺湯の開発について	

成果

- ・ 毎回違った講師に講演いただくことで、地域にまつわる様々なジャンルについて学習することができた。

課題

- ・ アンケートによると、現地視察の要望が多かったことから、次年度に向けて計画したい。

問合せ先

新発田市紫雲寺地区公民館 電話：0254-41-2291

事業名

〔 北国街道400年記念事業 〕

目的

当地の歴史・文化の形成に大きな影響を与えてきた北国街道を顕彰し、地域振興資源・生涯学習資源としての価値や魅力を高める。

実施主体

北国街道の手をつなぐ会・妙高市北国街道研究会・妙高市教育委員会

参加対象

新潟県・長野県の北国街道沿線自治体の住民

参加者数

延べ2,046人

回数

3回

日数

延べ94日

時間

—

場所

講演会…勤労者研修センター 企画展①…関川関所道の歴史館
企画展②…新井総合コミュニティセンター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月3日(日) 13:30~15:00	北国街道講演会 道中記を持って北国街道を歩こう ～北国街道の旅つれづれ～	尾崎行也氏 (郷土史研究家)
	内容・方法	街道散策のすすめとして、江戸時代の観光ガイドブックである「道中記」の見方・楽しみ方をテーマに講演会を開催し、合わせて、妙高市北国街道研究会が編さんを進めている北国街道観光ガイドブックの利用促進に向けたPRを行った。	
2	9月14日(土) ～11月29日(金)	企画展① 北国街道は金の道	
	内容・方法	当地に残る街道資料を展示し、金の道として成立した北国街道の歴史を佐渡金銀山の歴史と合わせて紹介した。開催にあたり、県文化行政課世界遺産登録推進室から解説パネル借用等の協力を得た。	
3	10月20日(日) ～11月4日(月)	企画展② 鉄道が運ぶ近代化の波 ～宿場町それぞれの明治維新～	妙高市北国街道研究会
	内容・方法	明治維新による街道から鉄道への変化を中心に、北国街道の宿場町を核として栄えてきた軽井沢町・小諸市・信濃町・妙高市・上越市・柏崎市・出雲崎町の近代化の歴史をそれぞれの地域に残る資料を交えて紹介した。	

成果

- ・市民団体が主体的に参画しており、団体の育成や歴史街道の地域資源としての活用が十分に図られた。
- ・新潟県が強く進める佐渡金銀山の世界遺産登録の取り組みとも連携することができた。
- ・長野県からの来場者が多く、交流人口の拡大が図られた。

課題

- ・街道散策のための環境整備をソフト・ハード両面から充実させていく必要がある。

問合せ先

妙高市教育委員会生涯学習課文化振興係 0255-74-0035

事業名

ふるさと見附をもっと楽しもう！もっと知ってみつけ
 「ふるさと見附探検隊」(新潟地区と今町地区の歴史・文化財編Ⅱ)
 ～地区の歴史を学んで、あなたもまちのガイドになりませんか。

目的

(1)地域住民に見附の魅力を知ってもらう (2)まちのガイド養成

実施主体

生涯学習推進係、今町公民館、新潟公民館、今町地区村部地域コミュニティ、新潟地区地域コミュニティ、民俗資料館(教育委員会教育総務課)

参加対象

見附の魅力をもっと知りたい方
 まちのガイド役として活躍したい方

参加者数

延べ 70人

回数

6回

日数

6日

時間

延べ12時間

場所

今町公民館・新潟公民館・今町地区内・新潟地区内

内容

- ・ まち歩き等をしながら、ふるさと見附の魅力(歴史、文化財、偉人、景観等)を知ってもらうとともに、最終的に「まちのガイド」を養成する事業。この事業は、市内6地区を3つのグループに分け、1グループ2年間の事業となる。本年度は今町地区と新潟地区を1つのグループとして2年目の講座を実施した。2年目は昨年度の講師による新潟地区と今町地区の学習内容を台本として、魅力あるまちを解説できるような、「まちのガイド」になってもらうための講座を実施する。また、同時に北谷地区、上北谷地区の第2グループも1年目として事業着手をした。
- ・ 生涯学習担当係と地区公民館、地域コミュニティ、民俗資料館が連携、協働して事業を計画、実施している。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月14日 夜間	「今町地区ガイド養成講座」	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	昨年度の淡路審議委員の説明を基にした資料から文化財ガイドの内容づくりを行う。	
2	11月19日 夜間	「今町地区ガイド養成講座」	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	グループごとに数か所の文化財担当に分かれて、文化財ガイドの準備を行う。	
3	11月26日 夜間	「新潟地区ガイド養成講座」	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	昨年度の淡路審議委員の説明を基にした資料からガイドの内容づくりを行う。	

4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月30日 午前	「今町地区ガイド養成講座」	見附市文化財保護審 議会委員
	内容・ 方法	グループごとに分かれて実際に受講生同士で文化財ガイドを体験してみる。	
5	期日・時間	テーマ	講師等
	12月3日 夜間	「新潟地区ガイド養成講座」	見附市文化財保護審 議会委員
	内容・ 方法	グループごとに数か所の文化財担当に分かれて、文化財ガイドの準備を行う。	
6	期日・時間	テーマ	講師等
	12月8日 午前	「新潟地区ガイド養成講座」	見附市文化財保護審 議会委員
	内容・ 方法	グループごとに分かれて実際に受講生同士で文化財ガイドを体験してみる。	

成 果

グループごとに分かれてガイド内容を話し合ったり、実際に受講生同士で文化財ガイドを体験したりすることができた。

課 題

最終目標は「まちのガイド」を養成することだが、この回数では養成するのは困難。来年度以降も引き続き事業を行い、複数年かけて養成していくことが必要。

問合せ先

見附市まちづくり課生涯学習推進係 T e l 0 2 5 8 - 6 2 - 7 8 0 1

事業名

〔 聖籠町歴史出前授業 〕

目的

聖籠町出土の土器や石器を実際に触れてもらい、自分達の暮らす地域の歴史に興味を持ってもらう。ひいては自分の郷土に理解や愛着・誇りを持ってもらう。

実施主体

聖籠町教育委員会 社会教育課

参加対象

聖籠町内小中学校等

参加者数

延べ100名

回数

2回

日数

2日

時間

延べ4時間

場所

聖籠町立亀代小学校、蓮野小学校

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月22日（月） 4・5限	聖籠町出土の土器や石器について	聖籠町教育委員会 社会教育課 主任 石田守之
	内容・方法	亀代小学校6年生の歴史授業。1クラスずつ行う。町内で出土した土器や石器を見ながら、縄文時代や弥生時代・古墳時代について概要を説明。実際に触れてもらい、本物を体験してもらう。その後、質問時間を設け疑問に思ったことを聞いてもらう。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	5月31日（金） 2・3限	同上	同上
内容・方法	蓮野小学校6年生の歴史授業。内容は同上。		

成果

- ・「土器はザラザラしていた」「矢じりは光っていて先はとがっていて痛かった」「自分の家の近くに遺跡があってびっくりした」等の感想をいただいた。中でも、「社会・歴史は苦手・興味がなかったけど、好きになった」との感想が複数あったのはうれしい限りである。

課題

- ・平成25年度より各小中学校に案内文を送り普及啓発を行っている。今後、さらに町内の小中学校と連携し、各学年の授業に合わせた内容でより広げたいと考えている。

問合せ先

聖籠町町民会館（担当－石田守之）0254－27－2121

事業名 [湯沢の石仏めぐり]

目的 湯沢の各地区の石仏をめぐることにより、その地区での歴史や習慣を学ぶ。

実施主体 湯沢町公民館

参加対象 町内在住者 **参加者数** のべ42名

回数 2回 **日数** 2日 **時間** 12時間

場所 湯沢町大字三俣、三国地区

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月7日	石仏めぐり	南雲 良正 様
	内容・方法	湯沢町大字三俣地区の石仏をめぐり、石仏の知識を学ぶと共に郷土の歴史や文化も学ぶ。	
2	9月30日	石仏めぐり	南雲 良正 様
	内容・方法	湯沢町大字三国地区の石仏をめぐり、石仏の知識を学ぶと共に郷土の歴史や文化も学ぶ。	

成果	・湯沢町の各地区の歴史を改めて知ることができた。
課題	・特になし

問合せ先 湯沢町公民館 熊谷健志 (TEL 025-784-2460)